

実施報告書

1. 確認事項等

施設番号	66-0496		
施設名	まし保育園		
施設所在地	東京都武蔵村山市岸1-5-11		
法人名	社会福祉法人 三ツ木育成会		
活動期間	令和 7 年 9 月	から	令和 8 年 2 月
活動内容の公表	活動報告書を作成し、園のホームページ等で公表した。		
	公表したホームページ等のURL	https://kishihokuen.ed.jp	

2. 活動報告（注1）

番号	1
テーマ	光と影
実施回数・期間 (注2)	合計1回 令和7年9月17日（水）
対象クラス・ 対象人数	0歳児クラス 1歳児クラス 2歳児クラス 3歳児クラス 4歳児クラス 5歳児クラス 人 人 人 人 人 人 17 人
活動内容 (注3)	光と影でお花畑を作ろう 黒画用紙、カラーセロファン、葉に光を当て透過性の違いを探求する。
活動における チェックリスト	<input checked="" type="checkbox"/> グループ単位での活動等により、乳幼児同士の対話、関わりを促した。 ※乳幼児同士の関わりを促すためにどのような工夫をしたか グループに分かれて活動を行い、子ども達が自分の考えや表現を友達や保育者に共有しながら活動を行う事により、保育者や友達との関わりを促した。
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動中の乳幼児の言葉、表情、ジェスチャー等の表現に着目し、メモ・写真・映像等で記録した。 ※記録をどのように行ったか 活動の様子をタブレット等を用いて写真や映像にて記録した。
	<input checked="" type="checkbox"/> 乳幼児一人ひとりが主体的に活動できるよう配慮した声掛け等を行った。 ※主体的な活動のためにどのような工夫をしたか 子ども達は4、5人のグループを作り、島になって活動をして、自由に表現できるように環境を整えた。保育者は適宜助言をして見守る事を心掛けた。
	<input checked="" type="checkbox"/> 記録をもとに、乳幼児の関心や発見、表現を振り返った。 ※振り返りの実施方法 活動後に撮影した写真や映像を見ながら、他クラスの担任等と交え、保育者同士で振り返りを行った。次年度へ向けて情報共有をした。
	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園等の各施設の教諭同士や保護者等に、探究活動の内容を共有した。 ※教諭や保護者等への共有方法 保護者へは、保育日誌、園ホームページ、Instagramにて活動報告を行った。
	<input checked="" type="checkbox"/> 次の探究活動の更なる充実に向け、新たな問いや環境の構成を考えた。 ※継続的な実施のための工夫 活動中の子ども達の反応や興味関心に着目し、子どもの言葉やアイデアを取り入れながら環境構成や活動内容を適宜工夫し、活動を発展させた。
	<input checked="" type="checkbox"/> グループ単位での活動等により、乳幼児同士の対話、関わりを促した。 ※乳幼児同士の関わりを促すためにどのような工夫をしたか 子ども達が協力して様々な種類の木の葉や木の実を採集しておいた。友達の意見をよく聞けるように促した。
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動中の乳幼児の言葉、表情、ジェスチャー等の表現に着目し、メモ・写真・映像等で記録した。 ※記録をどのように行ったか 活動の様子をタブレット等を用いて写真や映像にて記録した。
	<input checked="" type="checkbox"/> 乳幼児一人ひとりが主体的に活動できるよう配慮した声掛け等を行った。 ※主体的な活動のためにどのような工夫をしたか 友達の意見を取り入れながら自由に表現できるように環境を整えた。保育者は適宜助言をして見守る事を心掛けた。
	<input checked="" type="checkbox"/> 記録をもとに、乳幼児の関心や発見、表現を振り返った。 ※振り返りの実施方法 活動後に撮影した写真や映像を見ながら、他クラスの担任等と交え、保育者同士で振り返りを行った。次年度へ向けて情報共有をした。

(注1) 活動報告は、複数の活動内容を実施した場合は、活動ごとに記入してください。

(注2) 「実施回数・期間」欄には、今年度に継続的（月を単位とする複数月）に実施した取組の実施状況を記入してください。なお、原則、単発で実施した取組については対象になりません。

(注3) 「活動内容」欄には、どのような取組を行ったのかがわかるよう記入してください。また、活動報告書等、取組を行ったことがわかる書類の写しを提出してください。

2. 活動報告（注1）

番号	2
テーマ	自然
実施回数・期間 (注2)	合計1回 令和7年12月17日（水）
対象クラス・ 対象人数	0歳児クラス 1歳児クラス 2歳児クラス 3歳児クラス 4歳児クラス 5歳児クラス 人 人 人 人 人 人 16 人
活動内容 (注3)	自然素材を活用したお絵描き。落ち葉や木の实を使って園庭に大小の絵を描いてみる。
活動における チェックリスト	<input checked="" type="checkbox"/> グループ単位での活動等により、乳幼児同士の対話、関わりを促した。 ※乳幼児同士の関わりを促すためにどのような工夫をしたか 子ども達が協力して様々な種類の木の葉や木の実を採集しておいた。友達の意見をよく聞けるように促した。
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動中の乳幼児の言葉、表情、ジェスチャー等の表現に着目し、メモ・写真・映像等で記録した。 ※記録をどのように行ったか 活動の様子をタブレット等を用いて写真や映像にて記録した。
	<input checked="" type="checkbox"/> 乳幼児一人ひとりが主体的に活動できるよう配慮した声掛け等を行った。 ※主体的な活動のためにどのような工夫をしたか 友達の意見を取り入れながら自由に表現できるように環境を整えた。保育者は適宜助言をして見守る事を心掛けた。
	<input checked="" type="checkbox"/> 記録をもとに、乳幼児の関心や発見、表現を振り返った。 ※振り返りの実施方法 活動後に撮影した写真や映像を見ながら、他クラスの担任等と交え、保育者同士で振り返りを行った。次年度へ向けて情報共有をした。
	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園等の各施設の教諭同士や保護者等に、探究活動の内容を共有した。 ※教諭や保護者等への共有方法 保護者へは、保育日誌、園ホームページ、Instagramにて活動報告を行った。
	<input checked="" type="checkbox"/> 次の探究活動の更なる充実に向け、新たな問いや環境の構成を考えた。 ※継続的な実施のための工夫 活動中の子ども達の反応や興味関心に着目し、子どもの言葉やアイデアを取り入れながら環境構成や活動内容を適宜工夫し、活動を発展させた。
	<input checked="" type="checkbox"/> グループ単位での活動等により、乳幼児同士の対話、関わりを促した。 ※乳幼児同士の関わりを促すためにどのような工夫をしたか 子ども達が協力して様々な種類の木の葉や木の実を採集しておいた。友達の意見をよく聞けるように促した。
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動中の乳幼児の言葉、表情、ジェスチャー等の表現に着目し、メモ・写真・映像等で記録した。 ※記録をどのように行ったか 活動の様子をタブレット等を用いて写真や映像にて記録した。
	<input checked="" type="checkbox"/> 乳幼児一人ひとりが主体的に活動できるよう配慮した声掛け等を行った。 ※主体的な活動のためにどのような工夫をしたか 友達の意見を取り入れながら自由に表現できるように環境を整えた。保育者は適宜助言をして見守る事を心掛けた。
	<input checked="" type="checkbox"/> 記録をもとに、乳幼児の関心や発見、表現を振り返った。 ※振り返りの実施方法 活動後に撮影した写真や映像を見ながら、他クラスの担任等と交え、保育者同士で振り返りを行った。次年度へ向けて情報共有をした。

(注1) 活動報告は、複数の活動内容を実施した場合は、活動ごとに記入してください。

(注2) 「実施回数・期間」欄には、今年度に継続的（月を単位とする複数月）に実施した取組の実施状況を記入してください。なお、原則、単発で実施した取組については対象になりません。

(注3) 「活動内容」欄には、どのような取組を行ったのかがわかるよう記入してください。また、活動報告書等、取組を行ったことがわかる書類の写しを提出してください。

2. 活動報告（注1）

番号	3
テーマ	絵画
実施回数・期間 (注2)	合計1回 令和8年2月10日（火）
対象クラス・ 対象人数	0歳児クラス 1歳児クラス 2歳児クラス 3歳児クラス 4歳児クラス 5歳児クラス 人 人 人 人 人 15人
活動内容 (注3)	絵の具を使って絵を描く。自分が好きな色を持って、好みの筆や指、手のひらを使って描く。色が混ざり重なり合う事を発見する。
活動における チェックリスト	<input checked="" type="checkbox"/> グループ単位での活動等により、乳幼児同士の対話、関わりを促した。 ※乳幼児同士の関わりを促すためにどのような工夫をしたか 個人用の色紙と共同製作用のキャンバスを用意して、表現を共有した。
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動中の乳幼児の言葉、表情、ジェスチャー等の表現に着目し、メモ・写真・映像等で記録した。 ※記録をどのように行ったか 活動の様子をタブレット等を用いて写真や映像にて記録した。
	<input checked="" type="checkbox"/> 乳幼児一人ひとりが主体的に活動できるよう配慮した声掛け等を行った。 ※主体的な活動のためにどのような工夫をしたか 子ども達が自由に好きな色を選び、表現するものを制限しないように見守ることを心掛けた。
	<input checked="" type="checkbox"/> 記録をもとに、乳幼児の関心や発見、表現を振り返った。 ※振り返りの実施方法 活動後に撮影した写真や映像を見ながら、他クラスの担任等を交え、保育者同士で振り返りを行った。次年度へ向けて情報共有をした。
	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園等の各施設の教諭同士や保護者等に、探究活動の内容を共有した。 ※教諭や保護者等への共有方法 保護者へは、保育日誌、園ホームページ、Instagramにて活動報告を行った。
	<input checked="" type="checkbox"/> 次の探究活動の更なる充実に向け、新たな問いや環境の構成を考えた。 ※継続的な実施のための工夫 活動中の子ども達の反応や興味関心に着目し、子どもの言葉やアイデアを取り入れながら環境構成や活動内容を適宜工夫し、活動を発展させた。

（注1）活動報告は、複数の活動内容を実施した場合は、活動ごとに記入してください。

（注2）「実施回数・期間」欄には、今年度に継続的（月を単位とする複数月）に実施した取組の実施状況を記入してください。なお、原則、単発で実施した取組については対象になりません。

（注3）「活動内容」欄には、どのような取組を行ったのかがわかるよう記入してください。また、活動報告書等、取組を行ったことがわかる書類の写しを提出してください。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0496
施設名	きし保育園
施設所在地	東京都武蔵村山市岸1-5-11
法人名	社会福祉法人 ミツ木育成会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

「光と影」～光と影でお花畑を作ろう～

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

教材(黒画用紙、カラーセロファン、葉っぱ、布)に光を当て、透過性が異なる様子を知る。

2. 活動スケジュール

- ・影遊び(色々クイズ)
- ・お花づくり(黒画用紙セロファン)
- ・お花畑づくり(照明を当てる)
- ・屋外へ移動(太陽の光を当てる)

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

グループのテーブル/黒画用紙/カラーセロファン/マスキングテープ/白い不織布/投光器

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

一人一人、黒画用紙とセロファンでお花を作り、投光器からの光を当て、白い不織布に透かす。次に屋外へ移動して太陽光線を当て、透かして見る。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

様々な色のセロファンで自分の想像イメージを膨らませてお花を作り、それに光を当てた喜びと驚き。各自の言葉と表情で保育者へ伝える。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・光を通す素材通さない素材、色の透明度や濃さによって映し出される色を子ども達が気付き、今後の遊びや活動に展開していく。
- ・子どもの疑問に寄り添い考えること、またすぐに援助せず、様子に応じて関わることの大切さを学んだ。
- ・子ども一人一人に合わせた柔軟な保育が主体性や思考力の育ちに繋がると感じた。
- ・日常生活の中では気付きにくい光や影に着目した事で、日々の自然物への興味・関心・子ども達自身の観察力向上へと繋がっている。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0496
施設名	まし保育園
施設所在地	東京都武蔵村山市岸1-5-11
法人名	社会福祉法人 三ツ木育成会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

「自然」～自然素材を活用したお絵描き～

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

普段は何気なく見ている様々な種類や色の木の葉や、木の実を素材に用いて、大小の絵を制作する。

2. 活動スケジュール

落ち葉、木の実を採集し準備する。砂絵に木の葉と木の実で装飾制作する。2階テラスへ移動し観賞する。他の学年へもお披露目する。各自、木の葉で地面に絵を描く。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

園庭へ大小の絵の下書き(砂絵)をする。様々な種類や色の木の葉や、木の実を集める。大きな松ぼっくりは担当保育者の自宅庭から集めた。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

落ち葉木の実を採集し準備する。砂絵に木の葉と木の実で装飾制作する。2階テラスへ移動し観賞する。他の学年へもお披露目する。各自、木の葉で地面に絵を描く。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

落ち葉、木の葉には様々な形や色があり、松ぼっくりもじっくり観察することが出来た。皆で意見調整をしながら協力することの大切さ、保育者の助言を聞いていた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・一つの大きな制作には皆の協力が必要な事を理解した様子であった。
- ・相談しながら意見調整し、作成中は試行錯誤をして、ようやく完成したことの喜びを得たように感じた。
- ・一人一人が十分に使える量の素材を用意したことで全員が存分に楽しみ、意欲的に活動に参加する姿が見られ、環境を整えることの大切さを実感した。
- ・集団で一つのものを作り上げる事の喜び、楽しさから子ども達の団結力や友達への信頼感、表現力へと繋がり、様々な感性を刺激することが出来た。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0496
施設名	まし保育園
施設所在地	東京都武蔵村山市岸1-5-11
法人名	社会福祉法人 三ツ木育成会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

「絵画」～自由に描き表現する～

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

絵の具の色が重なるとどうなるのか？ 筆使い、指使いの違い、色紙やキャンパスへの描き方の違いを考える。

2. 活動スケジュール

個人用の色紙に描いてみる。その後、共同制作用のキャンパスに描く。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

ブルーシート/Tシャツ/筆/絵の具/紙皿/色紙/キャンパス

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

様々な色の絵の具を用意して、色の重なり具合や筆や指、手の平を使った色の変化、色紙やキャンパスへの描き方の違いを発見する。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

クレヨンや色鉛筆と絵の具の使用方法的の違いが理解できた。特に絵の具を混ぜる、色を重ねることが発見できた。各自の言葉と表情で保育者へ伝える。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・保育教材として初めて使用する「アクリル絵の具」に深い興味を示す子ども達。新しい教材を持ちいる事は新しい発想、表現があることに改めて気づいた。
- ・子ども達の言動を肯定することや普段の保育活動とは異なる素材を使用したことで自由な発想が生まれ、様々な技法で表現する楽しさを味わうことが出来ていた。
- ・活動を記録し振り返る事で子ども達の気付きや発想、想像力を捉え、今後の活動や環境構成に活かされていった。
- ・子ども達から表現された色や絵等から様々な興味や発見に繋がっている為、その姿を大切にしたいと感じた。